

前回のふりかえり（R1年度 第1回 5/23 開催）

第5次大刀洗町総合計画について

今年3月、第5次大刀洗町総合計画が策定されました。総合計画は、大刀洗町をより暮らしやすい町にしていくための計画で、町が目指す未来の姿をはっきりとさせ、それを実現するための様々な取り組みがまとめられています。

先日、総合計画の概要版が全戸配布されたところですが、策定を担当した、役場地域振興課の福岡係長より説明していただきました。

◇大刀洗町が目指す未来の姿（将来像）

わたしたちが創る 誇れるよかまち たちあらい

この未来の姿（将来像）を実現するために、3つの目標（基本目標）と9つの取り組みの柱（施策の大綱）がまとめられています。（総合計画概要版 P8.9）福祉分野においては「高齢者が役割や生きがいを持ち、いつまでも住み慣れた地域で暮らす」（総合計画概要版 P14）という目標があり、陽だまり～touch A LIFE～の取り組みも、この目標を目指すきっかけの場となっているようです。

また、総合計画にあわせて、小学校区別にも目指す未来の姿が描かれています。（総合計画概要版 P20.21）各校区の魅力や特色をいかして、よりよい地域をつかっていくために「わたしたちができること」がまとめられています。

今後の陽だまり～touch A LIFE～

前々回の陽だまり～touch A LIFE～において、校区别勉強会を継続していくことが決定しました。そこで、今回は「陽だまり～touch A LIFE～（町全体の話し合いの場）と校区别勉強会の関係をどう考えていくか」をメンバーで話し合いました。

☆協議体は何かする場というより、情報を共有、発信し、考え方をひろげる場。

→必ずしも、新しい仕組みをつくるのが目的の場ではない。でも、「やろう！」という声があれば応援。

☆思いのある人に参加してもらおう。

→友人や知り合いを誘い、新たな意見を聞いて考え方を広げる。協力者を増やす。

☆対象は高齢者にこだわらない。

→世代や分野にこだわらず、地域でできそうなことを考える。

初めの方も気軽に参加できますので、是非、お誘いをお願いします。

<イメージ図>

